

令和4年度第1回西部地域保健医療協議会（書面開催）の結果について

1 議題

- (1) 会長・副会長の選出について
- (2) 第7次地域保健医療計画「圏域別取組」の進捗状況について
- (3) その他

2 審議結果

①回答状況

委員数：23名

回答数：22名

※委員の過半数の回答があったため、会議成立とみなすこととします。

②結果

- (1) 会長・副会長の選出について

異議なし21名、別の意見あり1名により、承認されました。

別の意見：

- （塩谷委員）地域医療構想調整会議と重複しないように管内医師会代表者から選出したいとあるが、副会長が重複している。

→（事務局）ご指摘のとおりです。今回は事務局説明資料のとおり、特段の事情により副会長が兼任となる案を事務局で提案させていただきました。

- (2) 第7次地域保健医療計画「圏域別取組」の進捗状況について

意見等：

- （赤津委員）進捗状況については特にありません。個人的には、病院から在宅、時々入院、ほぼ在宅は当然と思っています。住民の医療に対する期待は高く、かかりつけ医が全てに応えるのは無理であると思っています。

所沢市医師会では、かかりつけ医同士及びメディカルスタッフの教育ができるように生活習慣病ネットワークを作りました。また、コロナ下で一番重要と思った情報共有手段としてMCSを早期から構築しました。MCSの参加者は医師・メディカルスタッフで100名以上です。

- （遠藤委員）生活習慣病予防から始める健康づくりにおいては、受診率の低迷が続いている。かかりつけ医から電話による受診勧奨を試みているが、向上しない状況である。飯能市の圏域別取組（実績）にある「人工知能による分析を活用した電話および通知による受診勧奨を実施」について、詳細を聞きたいと思います。
 - ①受診率の向上については、健診期間を1年間とし、成人健診を年間通して実施できないか、市に打診はしているが、話が進んでいない。
 - ②新しい取組みを精査したいと思います。
- （佐伯委員）令和5年度の計画に具体的数値目標をもう少し追加してください。
- （宮岡委員）女性のがん検診について、「女性の日」を設けたり、無料キャンペーンを実施したり、いずれの市も女性にとって受信しやすい体制作りに取り組んで頂き感謝です。受診率の表記について、人数、パーセントのうち一方のみ表記されている市がありますが、出来れば統一して頂くと分かりやすいです。

（3）その他

- （赤津委員）少子高齢化により、高齢独居増、労働者減に直面しています。地域包括ケアの根底にある、住居確保がバラバラでは、人材不足でサービス提供が困難です。行政主導で小規模事業者の協働・集約化が進むと良いと思います。また、集住化も必要です。実感として生活保護受給者の入院が増えており、貧困高齢者への対応が大きな課題となると感じます。（病院としても、入院医療費は行政のサポートがありますが、衣服や日用品等に関するサポートはなく、収支がマイナスになってしまいます。）